

グルテン感受性と身体・精神症状の関連および、グルテンフリー食の治療有効性の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	グルテン感受性と身体・精神症状の関連および、グルテンフリー食の治療有効性の検討
倫理審査 受付番号	第 3412号
研究期間	2020年 1月倫理審査承認日～2030年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	① 下記の期間、「統合失調症の発症機序と食事療法に関する研究-グルテン感受性とグルテンフリー食による治療可能性-」(本学倫理審査2425号)に、統合失調症患者群、健常対照群としてご協力いただいた方 2016年10月28日～2020年 1月20日 ②下記の期間、「うつ病患者のグルテン感受性と食事療法に関する研究」(本学倫理審査3092号)に、うつ病患者群、健常対照群としてご協力いただいた方 2018年12月27日～2020年 1月20日 ③下記の期間、「炎症性腸疾患患者のグルテン感受性と、身体・精神症状の関連 -グルテンフリー食による治療可能性の検討」(本学倫理審査2967号)に、炎症性腸疾患患者群、健常対照群としてご協力いただいた方 2018年 7月10日～2020年 1月20日

**研究に用いる
試料・情報**

カルテ情報、採取した血液より既に測定済みの抗体価、症状に関する評価尺度

研究概要

(研究目的、意義)

本研究は、統合失調症、うつ病、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患の患者さん、兵庫医科大学精神科グルテン専門外来を受診された方のグルテン感受性について調査し、精神症状や身体症状などの臨床的背景との関連性、疾患との関連性を明らかにすることを目的とします。さらにグルテンの感受性が明らかになった方に、グルテンフリー食を摂取してもらい、精神症状や身体症状などの変化を観察し、その治療効果を評価します。これにより、未だ明らかではないグルテン感受性の実態や、関連する様々な疾患や症状に対する新たな治療アプローチの可能性を検証することとなります。

(研究の方法)

「統合失調症の発症機序と食事療法に関する研究-グルテン感受性とグルテンフリー食による治療可能性-」(本学倫理審査2425号)「うつ病患者のグルテン感受性と食事療法に関する研究」(本学倫理審査3092号)「炎症性腸疾患患者のグルテン感受性と、身体・精神症状の関連 -グルテンフリー食による治療可能性の検討」(本学倫理審査2967号)で測定したグルテン関連抗体の抗体価、評価尺度やカルテから得た情報を用いて、過敏性腸症候群や統合失調症などの他の様々な対象疾患と比べて、グルテン感受性を持つ患者さんがどのくらいいるのかや、症状の特徴に違いがあるのかなどを調べます。

(外部への試料・情報の提供)

外部への試料・情報の提供はありません。

(研究組織)

兵庫医科大学 精神科神経科(①②③)、獨協医科大学 精神科神経科 (①②)

(個人情報の取扱い)

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 精神科神経科
山田 恒 (研究責任者)
本山 美久仁 (研究担当者)

TEL | (平日 9:00~16:45) 0798-45-6041 (外来)
(上記時間以外) 0798-45-6111 (代表)
